

岸田首相は“家康公”の心境か

今月中に新年度予算が成立確定は予定通り、過去最高の総額 114 兆円余りの来年度予算案が 2 月 28 日、自民、公明両党の賛成により衆院を通過して、衆院の優越性の憲法規定通り「衆院通過して 30 日間を経た予算は自然成立する」となるわけで、来年度予算が令和 4 年度内に成立することが確定した。来年度予算成立確定を機に、「防衛 3 文書」や防衛費の GDP 2% 引き上げ問題などの国会論議は急速に静かになり、政府・自民党は「子どもが真ん中の政策作り」に軸を移した格好だ。今や放送事業者の政治的公平性を謳った放送法をめぐる小西洋之・立憲民主党参議院議員 vs. 高市早苗経済安保担当相（放送法問題当時は総務大臣）、或いは総務省 vs. 高市大臣、との国会での対決話が国会の焦点となっている程度。

特に高市氏が自らの発言の部分は「明らかな捏造であり、（総務省は）携帯電話を盗聴していたのか」とまで断言。小西氏が「捏造ではなかったら大臣を辞めるか」と畳みかけると、高市氏は「結構だ。捏造でなければ国会議員も辞める」と応じた。ウクライナの電撃訪問など、5 月の「広島サミット」ファーストでの外交に精力を傾注している岸田文雄首相だが、昨年の自民党総裁選に出馬した候補者たちは総じて意気消沈気味であり、「自民党右派の代表格になるはずの高市氏も“自滅”状態。労せず故安倍晋三元首相の影響力が薄れる」（宏池会長老）塩梅である。そうなれば、「我こそが日本の真のトップに君臨できる」とほくそ笑んでいるのではないか。徴用工問題も一段落し韓国の尹錫悦大統領との日韓首脳会談が実現し、マスコミ各社の内閣支持率調査も支持率が不支持率を逆転し最近妙に上機嫌だと言うのも当然だろう。

その高市氏の政治的状況は“自滅”とされるほど大変厳しい。「小西文書」の落としどころが見えない。岸田首相は松本総務相にそれとなく「小西文書」の真

賈を確認させたという。国会への証人喚問をして高市氏 vs. 総務省官僚らを対決させ、「黒白」を付ける手もあるが、総務官僚が喚問前に辞任する可能性もある。この場合、松本剛明総務相も無傷ではいられないし、高市氏も当然苦境に立たされるのは必至だろう。これとは別に高市氏は自民党奈良県連会長として、4月9日投開票（3月23日告示）を取り仕切らねばならない。この知事選挙には、高市氏の総務相時代の秘書官だった平木省氏（48歳）が自民党公認として出馬するが、現職の荒井正吾氏（78歳）が自民党非公認でも5選を目指し、荒井氏と行動を共にする同県内の首長や県議がいて自民党は完全に分裂している。そこに「日本維新の会」から公認された弁護士の下山真氏（54歳）・元生駒市長も立候補。選挙情勢は自民分裂の間隙を縫って山下氏が優位に立っているという。

これで平木氏が惨敗することになれば、同県内は勿論、高市氏の政治生命も終わりがねない。こうした高市氏をめぐる政治の動きに自民党は「今のところ様子見」（森山裕自民党選対委員長）を決め込む。岸田首相は党内最小派閥領袖・森山氏に気を遣い優遇している。その森山氏も岸田政権を支えることで存在感を見せており、森山氏の采配は難しい。大河ドラマではないが、「どうする文雄」と見ている訳だ。岸田首相としても最早閣僚が辞任しても驚きはない。最近「鳴くまで待とうホトトギス」の徳川家康公の心境なのかもしれない。（憲）

★★

勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫
「インドに回帰する世界経済の中心」

★★

主に製造業の海外進出において、工場を中国に一局集中させるリスクを回避する経営戦略は、「チャイナ・プラスワン」と呼ばれてきました。近年では、新型コロナウイルスのパンデミックや地政学リスクの高まりを受け、この戦略に沿ったサプライチェーンの「脱中国依存」が鮮明になっています。中国は、人口が減少に転じたこともあり、もはや「世界の工場」でも「世紀の市場」でもなくなりつつあります。

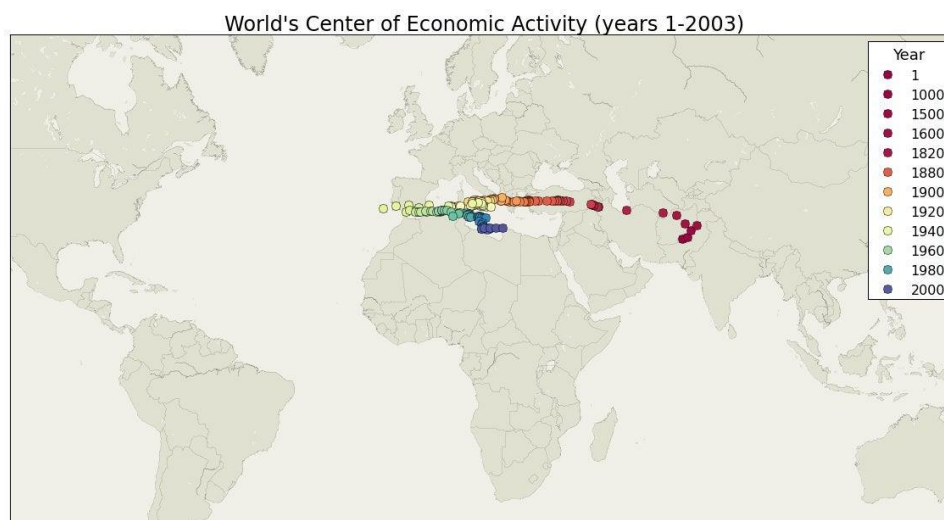
これに擬えて、投資家が海外投資をアメリカ市場に一局集中させるリスクを避ける投資戦略が、「アメリカ・プラスワン」とこれからは呼ばれそうです。今度のカリフォルニア州のシリコンバレー銀行の経営破綻は、その戦略が強く意識されるきっかけです。アメリカも、「経済力」だけではなく、「文化力」「国際的影響力」などでも、世界をリードしてきた超大国としての足元が危うくなっています。

この二つの「プラスワン」の有力候補として大きな期待を背負った国が、イ

ンドです。

インドは、人口で既に中国を追い越したと見られることや、GDP では 2027 年までにドイツと日本を上回り世界 3 位になると予想されることなどで、俄かに注目を浴びています。しかし、その勢いは、インドという新興国が台頭してきたと捉えるのではなく、世界経済の中心がインドに回帰していると理解することが、大変重要です。

世界の経済活動の中心は、もともと西暦 1 年から 1800 年頃まで、下の地図にあるように中国とインドに近い、インダス文明の発祥した地域にありました。その中心が西に移動し始めたのは 1800 年代からです。イギリスの産業革命を契機に隆盛を迎えたヨーロッパ経済に、生産性の向上で勃興するアメリカ経済が加わってからでした。ただ、その西への移動も長くは続かず、1900 年代の中頃には大西洋上で東に逆戻りを開始します。



出所：ダニエル・ヴェルコヴ

アジアの力に引っ張られ、世界経済の中心は 2015 年にはイランまで戻り、現在更に東進を続けています。そして 2050 年までには、もともとのインダス文明に発祥地を通過し、地図のようにインドの北部にまで達すると見られています。その時のインドの経済規模は、中国とアメリカをも凌駕している可能性が十分にあります。



出所：ダニエル・カー

私たちの資産運用で、この世界経済のインドへの回帰の流れに乗ることは、極めてコアな投資戦略です。アメリカ株や全世界株のインデックス・ファンドの積立投資も一つの戦略ですが、先進国の経済が長い低迷期に入ると予想されるこれから、それらのインデックス・ファンドに一局集中させては、人生100年時代にはリターンが足りません。

あなたのインデックス・ファンドにも、大谷翔平選手のような頼もしいプラスワンが必要です。

★★

ムッシュ望月の今月の相場展望+映画

映画は世につれ、世は映画につれ、世相を反映するのが相場

★★

1, 相場展望：回復期に入る企業業績

3月8日の日経平均の終値で2万8444円を付け、昨年9月以来半年ぶりを付けた。米金利の先高観を背景にして、ドル高・円安が追い風になっている。東証による「PBR（株価純資産倍率）1倍割れ企業に対する資本の改善要請」を高く評価した海外投資家が、先物買いを加速させ7週連続の買い越しを記録した。投資環境は大幅に改善したが、短期的には騰落レシオ（10日）が3月9日に201.87を付け過熱感を示している。前回は1月31日がピークで194.10を記録して、日柄整理は営業日ベースで10日間、約1週間を要している。調整に数で考えると3月末までには悪材料を消化するとテクニカル的には考えられる。今回の下落の要因は、米国のSVBなど中堅銀行の経営破たんが続き、米銀の時価総額60

兆円が消失したこと、15日のクレディ・スイスの株価急落で、欧州でも金融不安が高まったことによる。きっかけは、筆頭株主のサウジ・ナショナル・バンクの会長が「追加の出資要請」に応じられないとの報道により、破たん懸念が高まったことである。スイス国立銀行が「必要であれば流動性を供給」との措置を発表し、スイス金融大手のUSBが買収することが決まり落ち着きを示す局面に入ったが、米のFRBによる金利引き上げ21日～22日に迫り、0.5%引き上げの可能性はなくなったが、0.25%になるのか景気の減速を考慮して引き上げを止めるのか判断が難しい局面にある。今後の株式相場の焦点は二つで、米国の金融政策と企業業績にある。このタイミングでの米金融政策は読みづらいが、へまをしでかすとも思えず、不安定感が続いても、株式市場に大打撃をあたえることは起こらないと考える。企業業績に関しては、米国は悪化かそろそろ一巡しても良い時期にはいり、IT関連株の積極買いが散見されつつある。日本は、米の金融政策次第で円安・円高に振られやすい。円安に振れば、経常利益の4分の1を占める自動車業界が、半導体不足解消による生産・販売の挽回が業績を押し上げることになる。東証の指導による低PBR見直しも引き続きテーマとなり、底堅い動きが想定される。今後の大テーマは「インド」にある、インドの人口は中国を抜き、経済面でも21年の8.7%増、22年の6.8%増、24年の6.8%増と高い成長が見込まれており、世界経済成長のけん引き役となる。2026年にはドイツ系座、30年前後には日本を凌駕し、世界第3位の経済大国に躍り出る可能性が高い。このインドの経済成長の波に乗る動きがみられ、日本製鉄、ダイキン、ソニー、日本電産などが生産能力の拡大に動き出している。

2、 今月の映画：「オットーという男」

2月には13本の映画に出会い、通算は25本となった。鬼滅の刃、スクロール、藤枝梅安、バビロン、すべてうまくいきますように(仏)、BangBang(インド)、シャイロックの子供たち、アントマン&ワズプ、インシュリン島の精霊、ワース・命の値段、湯道、エンパイアー・オブ・ライト、逆転のトライアングル、2月は例年アカデミー賞受賞前だけに良い作品が目立つ。今回は3月に見た映画「オットーという男」を紹介する。主演は、二度のアカデミー賞に輝くトム・ハンクスで、嫌われ者の頑固爺さんを演じている。オットーという男は、いつもご機嫌斜めで、毎日近所をパトロール、ルールを守らない人間には説教、挨拶されても仏頂面、野良猫には八つ当たり、なんとも面倒で近寄り難い、それがオットーである。今、オットーは仕事を失くし、再際の妻にも先立たれ、妻の後を追って、自らの人生にピリオドを打とうとする。しかし、向かいの家に引っ越してきた家族に邪魔され、死にたくても死ねない。それも、一度じゃなく二度、三度も、

お隣さんは、世間知らずだが、とにかく人なっこく、お節介者のマリソルは厳格なオットーとは異なり真逆の性格。苦手な車の運転や、小さな娘たちの子守を頼んでくる。この迷惑一家の出現により、「自ら人生をあきらめよとしていた男」の人生が一変していく。もう一度生きる希望を見つけていく様をユーモアあり、涙ありで描いた感動作。原作は世界的なベストセラーとなったスウェーデンの小説。「幸せなひとりぼっち」というタイトルで映画化され、アカデミー賞の外国語映画賞にノミネートされている。この作品に魅せられたトム・ハンクスがプロデューサーにも連らねている。オットーを通じて、こころの変化を演じたトムの演技には誰もが心を揺さぶれ、オットーとい男を愛することに。

★★

23年4月以降のイカスのイベント情報

★★

株式投資勉強会：

- 04月05日（水）：15：00～花咲投資クラブ、イカス事務所
- 04月06日（木）：13：30～日比谷会投資クラブ、イカス事務所
- 04月11日（火）：16：00～サロン・ド・望月（株式投資）イカス事務所
- 04月15日（土）：15：00～スペリオール投資クラブ、イカス事務所
- 04月27日（木）：15：00～東京3Eクラブ、イカス事務所

05月09日（火）：16：00～サロン・ド・望月（株式投資塾）

- 05月10日（水）：15：00～花咲投資クラブ、イカス事務所
- 05月11日（木）：13：30～日比谷会投資クラブ、イカス事務所
- 05月20日（土）：15：00～スペリオール投資クラブ、イカス事務所
- 05月25日（木）：15：00～東京3Eクラブ、イカス事務所

下線のイベントは自由参加です。参加費：3000円

イカス（活かす）のイベント：

第39回：イカス夏の交流会：2023年6月8日午後6時、外国特派員協会、

司会：三宅あみ氏、ミニコンサート：オペラ歌手：首代明子氏

基調講演：慶応義塾大学名誉教授 池井優氏「語られなかった戦後日本外交」

サロン・ド・知久（交流会）：参加費2000円、特番は別料金

第15回：23年4月28日（金）：18：00～21：00、倶楽部エル

カラオケ会、3時間、懐石料理＋飲み放題、6500円

特番：03月11日（土）、04月08日（土）：14：00～16：00

講師：入鹿山剛堂氏（発明家）「チャットGTPの超活用法」

第 25 回 : 23 年 03 月 28 日 (火) : 14 : 00 ~ 16 : 00

講師 : Mr カラー マジックショー

第 26 回 : 23 年 04 月 18 日 (火) : 14 : 00 ~ 16 : 00

講師 : 鏡照美氏 「人と組織の整え方」

第 28 回 : 5 月 15 日 : 横浜を歩く会 (英国庭園)

講師 : 三宅あみ氏 (三越カルチャースクール等で活躍)

特番 : サロン・ド・知久・誕生会 : ニュー新橋ビル 3F 昭和カフェ

4 月 23 日 (日) 午後 5 時 00 分から午後 8 時 00 分まで

午後 8 時以降はカラオケ会 (by CHIKU)、30 人程度

特番 : 23 年 06 月 15 日 (木) : 14 : 00 ~ 16 : 00

講師 : 築野友衣子氏 フランス語の紙芝居、3000 円

NPO イカス : 東京都港区新橋 3-16-12 横山ビル 6F

info@npo-icas.com <http://npo-icas.com>

☆ 「10 代で身につける株式投資の基礎知識」 電子書籍発売中、楽天等

★有料メルマガ毎週 (日) 配信中、年間 24000 円、3 ヶ月 6000 円

★勉強会年会費振込先 : 三菱 UFJ 銀行、新宿中央支店、普通 5 3 1 3 5 5 0

特定非営利活動法人イカス

★毎日ツイッター更新 : 望月純夫 (証券歴 50 年、モーニングサテライト等

info@npo-icas.com

<http://npo-icas.com>